

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-139	13-058	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
Risks for first nonfatal myocardial infarction in Belgrade. ベオグラードの最初の致命的ではない心筋梗塞のリスクについて		
執筆者		
Ratkov I, Sipetić-Grujicić S, Vlajinac H, Marinković J, Maksimović N, Matanović D, Vasiljević Z.		
掲載誌		
Coll Antropol. 2013 Jun;37(2):499-505.		
キーワード		PMID
セルビア、心筋梗塞、リスク		23940996
要 旨		
<p>目的： この研究の目的はベオグラードにおける様々な危険因子が初発の非致死的心筋梗塞と関連しているかどうかを検討することである。</p> <p>方法： Case-control 研究は 2005 から 2006 年に、ベオグラードで実施された。症例群はベオグラードの救急センターで初発の致命的ではない心筋梗塞 (MI) によって冠状疾患集中治療室に入院した 35 歳から 80 歳の 100 例とした。対象群は同じ期間にセルビアのベオグラードの Institute of Rheumatology、Institute for Gastroenterology、整形外科のクリニックで治療した患者から抽出した 100 人とした。症例群と対象群は年齢(+/- 2 才)、性別そして居住区 (ベオグラードの都市部と周辺部) でマッチングを行った。</p> <p>結果： 心筋梗塞の危険因子の多変量解析によると、「よい」社会経済的状況 (OR=2.76)、酒類の総消費量 (OR= 2.62)、ブランデーの消費量 (OR=6.73)、ストレスの多いライフイベント (OR= 3.13)、および近親者の他界 (OR= 3.35)、大きな家計の問題 (OR=31.64) および小さな家計の問題 (OR=8.47)、高血圧症 (OR= 2.39)、血縁者の心筋梗塞発症 (OR=3.66)、父親の心筋梗塞 MI (OR=6.24)、HDL コレステロール低値 (OR=152.41) であった。過去の運動量は心筋梗塞発症と負の関連を認めた。</p> <p>結論： これらの結果は多くはこれまでの結果と一致しており、セルビアにおける冠動脈疾患予防の戦略の開発に有益であろう。</p>		